

資 料 編

1. 当別町地域福祉計画策定経過
2. アンケート等の集計結果
3. 当別町地域福祉計画策定委員会名簿
4. 当別町地域福祉計画策定委員会設置要綱

1. 当別町地域福祉計画策定経過

年 月 日	内 容
平成 17 年 7 月 15 日	平成 17 年度第 1 回当別町地域福祉計画策定連絡会（庁内） <ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定趣旨、策定期間、策定体制 ・アンケート調査について ・策定スケジュールについて
平成 17 年 7 月 26 日	平成 17 年度第 1 回当別町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・委員長、副委員長の選出 ・計画の策定趣旨、策定期間、策定体制について ・アンケート調査について ・策定スケジュールについて
平成 17 年 8 月 11 日	平成 17 年度第 2 回当別町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施内容の検討
平成 17 年 9 月 13 日～ 平成 17 年 9 月 30 日	当別町地域福祉計画アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・配布数：1,000 部 回収率：40.3% 有効回答数：400 件
平成 17 年 11 月 27 日	平成 17 年度第 2 回当別町地域福祉計画策定連絡会（庁内） <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果について ・当別町地域福祉セミナーの開催について ・関係機関団体ヒアリングの実施について
平成 17 年 12 月 5 日～ 平成 17 年 12 月 6 日	当別町地域福祉計画策定関係機関団体ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象：行政の担当部門及び各関係者団体 計 16 ヲ所
平成 17 年 12 月 6 日	当別町地域福祉セミナー（第 1 回） <ul style="list-style-type: none"> ・講演：「支えあい とともに生きる町づくり」 ・参加者：63 名
平成 18 年 3 月 27 日	平成 17 年度第 3 回当別町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果報告について ・計画策定のための基礎調査結果報告について
平成 18 年 5 月 23 日	平成 18 年度第 1 回当別町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年度スケジュールについて ・計画骨子イメージについて
平成 18 年 6 月 21 日	平成 18 年度第 2 回当別町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に対する委員の考えについて ・地域福祉セミナーの開催について

平成 18 年 7 月 18 日	<p>平成 18 年度第 3 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉セミナーの開催内容について ・ 各基礎データに基づく当別町の現状と課題について ・ 計画の理念について
平成 18 年 8 月 6 日	<p>当別町地域福祉セミナー（第 2 回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演：「一人ひとりの願いにこたえるまちづくりを目指して」 ・ 参加者：76 名
平成 18 年 8 月 22 日	<p>平成 18 年度第 4 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉セミナーの開催結果について ・ 平成 17 年度実施アンケート調査等の総括およびクロス分析結果について
平成 18 年 9 月 20 日	<p>平成 18 年度第 5 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉先進地の事例ビデオ上映 ・ 計画の理念決定に向けた検討
平成 18 年 10 月 30 日	<p>平成 18 年度第 6 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画基本理念等の決定に向けたワークショップ ・ パブリックコメントの開催方法及び時期について
平成 18 年 11 月 21 日	<p>平成 18 年度第 1 回当別町地域福祉計画策定連絡会（庁内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定の進捗状況報告 ・ 計画骨子(案)についての検討
平成 18 年 11 月 29 日	<p>平成 18 年度第 7 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画骨子(案)の決定 ・ パブリックコメント及び地域懇談会の開催内容について
平成 18 年 11 月 30 日	<p>平成 18 年度第 2 回当別町地域福祉計画策定連絡会（庁内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメント及び地域懇談会の実施について
平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 18 年 12 月 29 日	<p>当別町地域福祉計画骨子(案)についてのパブリックコメント</p>
平成 18 年 12 月 11 日	<p>当別町地域福祉計画策定に向けた地域懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者：80 名
平成 18 年 12 月 20 日	<p>平成 18 年度第 8 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域懇談会の開催結果について
平成 19 年 1 月 22 日	<p>平成 18 年度第 9 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画素案についての検討
平成 19 年 2 月 5 日	<p>平成 18 年度第 4 回当別町地域福祉計画策定連絡会（庁内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画最終案の検討
平成 19 年 2 月 19 日	<p>平成 18 年度第 10 回当別町地域福祉計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画最終案の決定

2. アンケート等の集計結果

1) 当別町地域福祉計画アンケート集計結果

調査期間	平成 17 年 9 月 13 日～9 月 30 日
配布数	1,000 部
回収数	403 件
回収率	40.3%
有効回答数	400 件

- 図表中の「SA」は選択が一つに限られている単一回答（シングル・アンサー）、「MA」は選択が二つ以上ある場合の複数回答（マルチ・アンサー）を表します。
- 回答の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答者比率の合計が 100%にならない場合があります。
- 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって複数回答（「〇いくつでも等」）の設問については、すべての回答比率の合計が 100%を超える場合があります。

問1 性別

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男	164	41.0	41.7
2	女	229	57.3	58.3
	不明	7	1.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	393

問2 年齢

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代	25	6.3	6.4
2	30歳代	60	15.0	15.3
3	40歳代	71	17.8	18.1
4	50歳代	84	21.0	21.4
5	60歳～64歳	42	10.5	10.7
6	65歳～69歳	30	7.5	7.6
7	70歳～74歳	34	8.5	8.7
8	75歳～79歳	29	7.3	7.4
9	80歳以上	18	4.5	4.6
	不明	7	1.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	393

問3 自宅のある行政区名

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	幸町	8	2.0	2.1
2	弥生	7	1.8	1.8
3	旭町	4	1.0	1.0
4	万代町	3	0.8	0.8
5	白樺町	12	3.0	3.1
6	北栄町	22	5.5	5.7
7	錦町	6	1.5	1.6
8	末広	9	2.3	2.3
9	美里	9	2.3	2.3
10	西町	15	3.8	3.9
11	元町	15	3.8	3.9
12	緑町	15	3.8	3.9
13	東町	8	2.0	2.1
14	春日町	26	6.5	6.7
15	栄町	8	2.0	2.1
16	下川町	6	1.5	1.6
17	六軒町	9	2.3	2.3
18	弁華別	4	1.0	1.0
19	茂平沢	5	1.3	1.3
20	みどり野	6	1.5	1.6
21	青山	3	0.8	0.8
22	中小屋	5	1.3	1.3
23	金沢	6	1.5	1.6
24	樺戸町	12	3.0	3.1
25	東裏	9	2.3	2.3
26	東蕨岱	1	0.3	0.3
27	蕨岱町	3	0.8	0.8
28	対雁	5	1.3	1.3
29	川下右岸	6	1.5	1.6
30	川下左岸	6	1.5	1.6
31	太美化	12	3.0	3.1
32	太美寿	6	1.5	1.6
33	太美東	7	1.8	1.8
34	太美中央	18	4.5	4.7
35	太美西	10	2.5	2.6
36	太美南	22	5.5	5.7
37	当別太	5	1.3	1.3
38	太美スターライト	16	4.0	4.1
39	ビトエ	2	0.5	0.5
40	高岡	2	0.5	0.5
41	獅子内	10	2.5	2.6
42	スウェーデンヒルズ	18	4.5	4.7
43	上当別	1	0.3	0.3
44	若葉	4	1.0	1.0
	不明	14	3.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	386

問4 当別町での居住年数

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住み始めて1年未満	3	0.8	0.8
2	住み始めて1年～3年未満	13	3.3	3.3
3	住み始めて3年～5年未満	31	7.8	7.8
4	住み始めて5年～10年未満	41	10.3	10.4
5	住み始めて10年～20年未満	77	19.3	19.4
6	住み始めて20年以上	145	36.3	36.6
7	生まれてからずっと	86	21.5	21.7
	不明	4	1.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	396

問5 現在の家族構成

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	一人暮らし	31	7.8	7.8
2	夫婦のみ	98	24.5	24.8
3	2世代世帯(親と子)	193	48.3	48.9
4	3世代世帯(親と子と孫)	43	10.8	10.9
5	その他	30	7.5	7.6
	不明	5	1.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	395

問6 職業

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自営業(農業)	41	10.3	10.4
2	自営業(農業以外)	18	4.5	4.6
3	勤め人(常勤)	99	24.8	25.1
4	勤め人(パート)	55	13.8	13.9
5	専業主婦	76	19.0	19.2
6	学生	8	2.0	2.0
7	無職	91	22.8	23.0
8	その他	7	1.8	1.8
	不明	5	1.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	395

問7 身の周りに福祉サービスの手助けを必要としている人の有無

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	家族にいる	79	19.8	20.6
2	近所にいる	81	20.3	21.1
3	友人・知人にいる	38	9.5	9.9
4	いない	203	50.8	52.9
	不明	16	4.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	384

問8 福祉サービスに関して必要な情報の入手状況

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	充分入手できている	23	5.8	5.9
2	ある程度入手できている	120	30.0	30.8
3	どちらとも言えない(わからない)	99	24.8	25.4
4	あまり入手できていない	75	18.8	19.2
5	ほとんど入手できていない	66	16.5	16.9
6	福祉情報を必要としていない	7	1.8	1.8
	不明	10	2.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	390

問9 福祉サービスに関する情報の入手方法

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	町広報誌などのお知らせ	276	69.0	74.2
2	町の相談窓口	52	13.0	14.0
3	病院・診療所・薬局等	74	18.5	19.9
4	社会福祉協議会	24	6.0	6.5
5	地域の回覧板・掲示板	101	25.3	27.2
6	インターネット	29	7.3	7.8
7	民生委員や福祉委員	29	7.3	7.8
8	テレビ・ラジオ	88	22.0	23.7
9	その他	16	4.0	4.3
	不明	28	7.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	372

問10 福祉サービスの充実と自己負担についての考え (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自己負担が重くなっても充実	35	8.8	9.0
2	自己負担が重くなるのは好まない	250	62.5	64.1
3	負担が重くなるなら現状でよい	39	9.8	10.0
4	充実させるより自己負担を軽減	22	5.5	5.6
5	その他	4	1.0	1.0
6	わからない	40	10.0	10.3
	不明	10	2.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	390

問11 介護保険の仕組みについての認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	133	33.3	33.8
2	聞いたことはあるがよく知らない	217	54.3	55.1
3	知らない	44	11.0	11.2
	不明	6	1.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	394

問12 家族に介護保険サービスを利用している人の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	57	14.3	14.5
2	認定を受けているが利用なし	14	3.5	3.6
3	いない	309	77.3	78.4
4	よくわからない	14	3.5	3.6
	不明	6	1.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	394

問13 支援費制度の仕組みについての認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	67	16.8	17.0
2	聞いたことはあるがよく知らない	155	38.8	39.3
3	知らない	172	43.0	43.7
	不明	6	1.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	394

問14 家族に支援費制度を利用している人の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いる	34	8.5	8.7
2	受給者証は受けているが利用なし	8	2.0	2.0
3	いない	307	76.8	78.3
4	よくわからない	43	10.8	11.0
	不明	8	2.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	392

問15 隣近所との付き合いの程度 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	互いの家を行き来している	54	13.5	13.6
2	会えば立ち話をする程度	159	39.8	40.2
3	会えば挨拶をする程度	157	39.3	39.6
4	近所にどんな人がいるか知らない	7	1.8	1.8
5	近所づきあいはしない	13	3.3	3.3
6	その他	6	1.5	1.5
	不明	4	1.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	396

問16 隣近所との付き合いに対しての感想 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	今よりもっと幅広く付き合いたい	157	39.3	42.9
2	今よりもっと親密に付き合いたい	54	13.5	14.8
3	近所との間にトラブルを抱えている	16	4.0	4.4
4	実は近所付き合いをしたくない	16	4.0	4.4
5	ほとんど付き合いはない	88	22.0	24.0
6	その他	72	18.0	19.7
	不明	34	8.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	366

問17 日常生活での不安や悩み

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自分の健康に関すること	192	48.0	49.0
2	家族の健康に関すること	191	47.8	48.7
3	仕事や収入に関すること	147	36.8	37.5
4	生きがいに関すること	45	11.3	11.5
5	住まいに関すること	52	13.0	13.3
6	子育てに関すること	46	11.5	11.7
7	人間関係に関すること	43	10.8	11.0
8	いじめや暴力に関すること	16	4.0	4.1
9	家族の介護に関すること	51	12.8	13.0
10	犯罪に関すること	22	5.5	5.6
11	その他	3	0.8	0.8
12	特になし	33	8.3	8.4
	不明	8	2.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	392

問18 不安や悩みがある場合の相談相手

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	家族や親戚	305	76.3	79.6
2	近所の人	25	6.3	6.5
3	知人や友人	203	50.8	53.0
4	民生委員や福祉委員	19	4.8	5.0
5	社会福祉協議会	7	1.8	1.8
6	町の相談窓口	23	5.8	6.0
7	病院・診療所・薬局等	54	13.5	14.1
8	その他	9	2.3	2.3
9	相談したいが相談相手がいない	15	3.8	3.9
10	誰にも相談したいとは思わない	16	4.0	4.2
	不明	17	4.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	383

問19 地域における福祉についての考え

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	人を頼らず自分でやっていきたい	108	27.0	27.7
2	協力し住みやすい地域にしたい	100	25.0	25.6
3	行政がしっかり面倒を見るべき	32	8.0	8.2
4	行政・町民共に取り組むべき	134	33.5	34.4
5	その他	4	1.0	1.0
6	わからない	12	3.0	3.1
	不明	10	2.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	390

問20 現在やっている活動

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	町内会・自治会活動	90	22.5	23.9
2	社会福祉協議会活動	8	2.0	2.1
3	ボランティア活動	33	8.3	8.8
4	健康・福祉関係団体活動	13	3.3	3.4
5	老人クラブ活動	38	9.5	10.1
6	女性関係団体活動	15	3.8	4.0
7	PTA・子供会育成活動	25	6.3	6.6
8	趣味や娯楽のサークル活動	66	16.5	17.5
9	NPO活動	2	0.5	0.5
10	その他	11	2.8	2.9
11	したことはあるが現在はしていない	91	22.8	24.1
12	活動したことはない	108	27.0	28.6
	不明	23	5.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	377

問21-1 参加している活動の目的

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	地域をよくしたいから	82	20.5	30.4	31.4
2	人とのふれあいを求めて	128	32.0	47.4	49.0
3	自分自身のためになるから	110	27.5	40.7	42.1
4	なんとなく	20	5.0	7.4	7.7
5	仕方なく	26	6.5	9.6	10.0
6	その他	19	4.8	7.0	7.3
	不明	9	2.3	3.3	
	非該当	130	32.5		
	サンプル数(%ベース)	400	100	270	261

問21-2 地域活動に現在参加していない理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	参加・活動する時間的余裕がない	76	19.0	38.2	42.2
2	健康上や身体的理由でできない	38	9.5	19.1	21.1
3	参加方法がわからない	32	8.0	16.1	17.8
4	興味のある活動がない	36	9.0	18.1	20.0
5	その他	15	3.8	7.5	8.3
6	参加したくない	21	5.3	10.6	11.7
	不明	19	4.8	9.5	
	非該当	201	50.3		
	サンプル数(%ベース)	400	100	199	180

問22 今後参加してみたい地域活動

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どもの世話や子育て支援	39	9.8	11.9
2	障がい者の援助	33	8.3	10.1
3	高齢者の援助	56	14.0	17.1
4	青少年関係の活動	14	3.5	4.3
5	健康づくりの活動	102	25.5	31.1
6	自然・環境保護に関する活動	70	17.5	21.3
7	スポーツや文化関係の活動	96	24.0	29.3
8	まちづくり関係の活動	48	12.0	14.6
9	その他	7	1.8	2.1
10	参加したいとは思わない	67	16.8	20.4
	不明	72	18.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	328

問23 今後、地域活動を活発にするために必要なこと

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	活動する仲間や支援者がいること	202	50.5	59.8
2	活動を推進するリーダーの養成	83	20.8	24.6
3	活動経費の経済的支援が得られること	100	25.0	29.6
4	趣味や特技を生かせるような活動であること	119	29.8	35.2
5	活動参加に対する職場の理解	26	6.5	7.7
6	地域や行政が理解・支援してくれること	110	27.5	32.5
7	ボランティアに関する講座等の取り組みがあること	58	14.5	17.2
8	家族の理解が得られること	51	12.8	15.1
9	その他	7	1.8	2.1
	不明	62	15.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	338

問24 どのように町民は地域活動に取り組むべきか (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	活動する団体のネットワークづくり	58	14.5	16.2
2	福祉問題に関する議論の場づくり	37	9.3	10.3
3	世代を超えた交流の場づくり	106	26.5	29.5
4	犯罪のない環境づくり	122	30.5	34.0
5	高齢者への支援	106	26.5	29.5
6	子どもへの支援	60	15.0	16.7
7	障がい者への支援	43	10.8	12.0
8	青少年の健全育成支援	36	9.0	10.0
9	生涯学習の支援	45	11.3	12.5
10	生きがいづくりの支援	75	18.8	20.9
11	健康づくりの支援	88	22.0	24.5
12	福祉や人権に関する意識啓発	23	5.8	6.4
13	いじめ・虐待等、福祉問題の発見の取り組み	41	10.3	11.4
14	地域で行う防災活動	50	12.5	13.9
15	その他	4	1.0	1.1
	不明	41	10.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	359

問25 ボランティア活動についての考え (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現在活動に参加しており今後もしたい	37	9.3	10.5
2	現在活動しているが今後やめたいお	2	0.5	0.6
3	現在参加していないが参加したい	41	10.3	11.6
4	現在参加していないが興味がある	161	40.3	45.5
5	参加していないし今後もしない	56	14.0	15.8
6	その他	4	1.0	1.1
7	わからない	53	13.3	15.0
	不明	46	11.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	354

問26 今後、参加してみたいボランティア活動 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	地域における子育て支援活動	52	13.0	21.8	22.7
2	障がい者への援助	43	10.8	18.0	18.8
3	高齢者に対する援助	89	22.3	37.2	38.9
4	保健・医療に関する活動	16	4.0	6.7	7.0
5	青少年の健全育成に関する活動	24	6.0	10.0	10.5
6	国際交流に関する活動	27	6.8	11.3	11.8
7	自然や環境保護に関する活動	71	17.8	29.7	31.0
8	まちづくりに関する活動	58	14.5	24.3	25.3
9	地域で行う防災活動	40	10.0	16.7	17.5
10	地域で行う防犯活動	24	6.0	10.0	10.5
11	スポーツ・文化等に関する活動	89	22.3	37.2	38.9
12	その他の活動	1	0.3	0.4	0.4
	不明	10	2.5	4.2	
	非該当	161	40.3		
	サンプル数(%ベース)	400	100	239	229

問27 今後も現在の地区に住み続けたいかの有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	住み続けたい	242	60.5	63.4
2	住み続けたいが移転も考えている	96	24.0	25.1
3	できれば移転したい	44	11.0	11.5
	不明	18	4.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	382

問28-1 住み続けたい理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	ここが故郷だから	80	20.0	23.7	24.7
2	地区に慣れ親しんでいるから	138	34.5	40.8	42.6
3	生活しやすいから	89	22.3	26.3	27.5
4	知り合いが多いから	49	12.3	14.5	15.1
5	環境変化への対応に自信がないから	19	4.8	5.6	5.9
6	経済的な理由	50	12.5	14.8	15.4
7	その他	23	5.8	6.8	7.1
	不明	14	3.5	4.1	
	非該当	62	15.5		
	サンプル数(%ベース)	400	100	338	324

問28-2 移転を考えている・移転したい理由

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除非)%	(除非不)%
1	故郷に帰りたい	11	2.8	7.9	10.3
2	生活しにくいから	43	10.8	30.7	40.2
3	健康上の理由	14	3.5	10.0	13.1
4	家族の都合	24	6.0	17.1	22.4
5	経済的な理由	17	4.3	12.1	15.9
6	その他	31	7.8	22.1	29.0
	不明	33	8.3	23.6	
	非該当	260	65.0		
	サンプル数(%ベース)	400	100	140	107

問29 今後、当別町において特に重要と思われる保健・福祉施策

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	子どもの頃からの福祉教育の充実	44	11.0	12.3
2	何でも相談できる総合相談機能の充実	111	27.8	30.9
3	保健・福祉サービスに関する情報提供の充実	79	19.8	22.0
4	高齢者の在宅福祉サービスの充実	63	15.8	17.5
5	高齢者の通所施設の整備や運営の改善	55	13.8	15.3
6	高齢者の入所施設の整備や運営の改善	91	22.8	25.3
7	障がい者の在宅福祉サービスの充実	26	6.5	7.2
8	障がい者の通所施設の整備や運営の改善	27	6.8	7.5
9	障がい者の入所施設の整備や運営の改善	19	4.8	5.3
10	医療やリハビリ機関の充実	107	26.8	29.8
11	各種検診・健康増進事業の充実	49	12.3	13.6
12	夜間・緊急のサービス体制の充実	116	29.0	32.3
13	地域における子育て支援の充実	54	13.5	15.0
14	就労の援助や雇用の促進	77	19.3	21.4
15	いじめ・ぎゃく待等の対策の充実	34	8.5	9.5
16	生涯学習や文化活動の充実	35	8.8	9.7
17	高齢者への支援の充実	70	17.5	19.5
18	障がい者への支援の充実	22	5.5	6.1
19	スポーツ・レクリエーション活動の充実	30	7.5	8.4
20	不登校に対する施策と支援の充実	9	2.3	2.5
21	まち中を動きやすくするバリアフリーの推進	52	13.0	14.5
22	地震・風水害等に備える安全対策の充実	92	23.0	25.6
23	除雪など冬場の福祉対策の充実	171	42.8	47.6
24	町民の福祉問題に対する啓発の促進	30	7.5	8.4
25	その他	4	1.0	1.1
	不明	41	10.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	359

問30 地域で互いに助け合える町になるために重要と思うこと

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	地域の福祉活動等に関する意識啓発	141	35.3	40.1
2	地域活動に対する経済的支援	143	35.8	40.6
3	地域活動を担う人材の養成	150	37.5	42.6
4	活動に関する学習の場や機会の充実	82	20.5	23.3
5	地域における様々な交流の推進	106	26.5	30.1
6	学校教育等における福祉意識・教育の充実	100	25.0	28.4
7	福祉問題の発見体制・相談体制の充実	83	20.8	23.6
8	その他	3	0.8	0.9
	不明	48	12.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	352

問31 当別町社会福祉協議会の認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	活動内容を知っている	80	20.0	20.5
2	名前だけ知っている	210	52.5	53.8
3	知らない	100	25.0	25.6
	不明	10	2.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	390

問32 当別町社会福祉協議会事務所の所在地の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	171	42.8	44.1
2	知らない	217	54.3	55.9
	不明	12	3.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	388

問33 社協が町民から会費をもらって事業を行っていることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	99	24.8	25.6
2	知らない	288	72.0	74.4
	不明	13	3.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	387

問34 当別町社会福祉協議会会報誌「ほほえみ」を読んだことがあるかの有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	いつも読んでいます	77	19.3	19.9
2	ときどき読んでいます	198	49.5	51.2
3	読んだことがない	112	28.0	28.9
	不明	13	3.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	387

問35-① 社協が心配事、悩み等の相談に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	61	15.3	16.4
2	聞いたことがある	121	30.3	32.5
3	知らない	190	47.5	51.1
	不明	28	7.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	372

問35-② 社協が生活福祉資金等の貸付事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	39	9.8	10.6
2	聞いたことがある	85	21.3	23.0
3	知らない	245	61.3	66.4
	不明	31	7.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	369

問35-③ 社協が町民からの善意や寄付金の受け入れ事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	121	30.3	32.4
2	聞いたことがある	114	28.5	30.5
3	知らない	139	34.8	37.2
	不明	26	6.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	374

問35-④ 社協がボランティア相談やボランティア派遣事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	66	16.5	17.9
2	聞いたことがある	116	29.0	31.4
3	知らない	187	46.8	50.7
	不明	31	7.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	369

問35-⑤ 社協がボランティア講座等のボランティア養成事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	53	13.3	14.3
2	聞いたことがある	109	27.3	29.5
3	知らない	208	52.0	56.2
	不明	30	7.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	370

問35-⑥ 社協が福祉団体やボランティア団体活動に対する助成事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	57	14.3	16.3
2	聞いたことがある	107	26.8	30.7
3	知らない	185	46.3	53.0
	不明	51	12.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	349

問35-⑦ 社協がひとり暮らし高齢者世帯等への配食サービス受託事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	95	23.8	26.6
2	聞いたことがある	124	31.0	34.7
3	知らない	138	34.5	38.7
	不明	43	10.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	357

問35-⑧ 社協が乳酸菌飲料を宅配する訪問サービス事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	47	11.8	13.2
2	聞いたことがある	69	17.3	19.4
3	知らない	240	60.0	67.4
	不明	44	11.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	356

問35-⑨ 社協が高校生等に福祉施設体験事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	48	12.0	13.6
2	聞いたことがある	98	24.5	27.8
3	知らない	207	51.8	58.6
	不明	47	11.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	353

問35-⑩ 社協が援護活動等を目的とした福祉のまちづくり事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	36	9.0	10.3
2	聞いたことがある	100	25.0	28.6
3	知らない	214	53.5	61.1
	不明	50	12.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	350

問35-⑪ 社協が子ども発達支援センターの受託事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	38	9.5	10.8
2	聞いたことがある	85	21.3	24.1
3	知らない	229	57.3	65.1
	不明	48	12.0	
	サンプル数(%ベース)	400	100	352

問35-⑫ 社協がホームヘルプサービス受託事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	80	20.0	22.5
2	聞いたことがある	109	27.3	30.7
3	知らない	166	41.5	46.8
	不明	45	11.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	355

問35-⑬ 社協がデイサービス受託事業に取り組んでいることの認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	内容を知っている	86	21.5	24.1
2	聞いたことがある	111	27.8	31.1
3	知らない	160	40.0	44.8
	不明	43	10.8	
	サンプル数(%ベース)	400	100	357

問36 赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動のお金の使われ方の認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	詳しく知っている	17	4.3	4.4
2	だいたい知っている	238	59.5	62.1
3	知らない	128	32.0	33.4
	不明	17	4.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	383

問37 「小地域ネットワーク活動」という言葉の認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	具体的な内容を知っている	8	2.0	2.1
2	言葉だけ知っている	122	30.5	32.3
3	知らない	248	62.0	65.6
	不明	22	5.5	
	サンプル数(%ベース)	400	100	378

問38 地域における福祉委員の認識の有無 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	活動内容を知っている	29	7.3	7.7
2	名前だけ知っている	119	29.8	31.4
3	知らない	231	57.8	60.9
	不明	21	5.3	
	サンプル数(%ベース)	400	100	379

2) ヒアリング結果の概要

町内の関係者団体及び行政等の関係機関に対し行ったヒアリング結果から、以下のような課題が抽出されました。

- 「施設」から「在宅」へという流れの中で、地域での見守りや受け入れ体制をいかに整えていくか。

少子高齢化や女性の社会進出等の中で、家庭だけで要支援者を支えていくには限界があり、みんなが住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域での支援体制をどう整えていくかということが課題となる。

- 福祉関係の主体間(町民・行政・各種団体等)の横の繋がりをいかに強めていくか。

地域では様々な活動が展開されているが、意外と横の繋がりが弱い。家庭・町内会・学校・各種団体・行政等、それぞれの役割分担とともに、いかに相互連携を図り、効率的・効果的な活動に発展させていくかが課題となる。

- 当事者(高齢者・障がい者等)の声を聞き、いかに当事者の目線にたった施策を展開していくか。

これまでのまちづくりの中では、当事者が直接関わった中で色々な施策が展開される機会が少なかった。当事者の目線にたった整備は重要なポイントとなり、ニーズを吸収し適切な対策を打っていくためには、当事者との連携は重要な課題となる。

- 健康づくりや福祉教育等、子ども～成人～高齢期というライフステージに即した連続性のある対策をいかに講じていくか。

基本は、誰もが尊厳と生きがいを持ち、生涯健康に暮らすかということであり、そのためには、子どもの頃からの健康づくりや、福祉に対する教育等、それぞれのライフステージにおいて、適切な連続性のある対策を打っていくことが課題となる。

- 「福祉のまちづくり」という視点からの、総合的なまちづくりの理念と方策をいかにたてるか。

バリアフリーの問題だけではなく、誰もが快適に便利に楽しく暮らせるまちづくりという意味からも、まちづくりの骨格の中に「福祉」の考え方を基本に据えた考え方をいかに構築していくかが課題となる。

- 空き家を含め、町の各種社会資源をいかに効果的に活用していくか。

既に幾つかの試みはみられるが、例えば子どもの施設を高齢者も活用する、あるいは夜間や休日の利用による町民の利便性を増大する、といった施設の運用面も含め、社会資源の効果的な活用方策が課題となる。

●**見えない要支援者に対して、いかにアプローチしていくか。**

閉じこもりや、各種活動に非積極的な、いわば「見えない要支援者」をどう支援するか、個人情報の問題も含め、いかに適切なアプローチを図るかが課題である。

●**各種団体の会員数の減少、高齢化、人材不足等にいかに対応していくか。**

様々な福祉関連団体の共通的な課題として、会員数の減少、高齢化、新規加入者不足、人材の不足といった問題が生じている。さらに、団体そのものの存在が十分に知られていないといった面もあげられ、いかに地域の中にPRし、地域と共に活動が出来る体制づくりを創り上げていくかが課題である。

●**各種の規制の壁をいかになくしていくか。**

色々な制度や条件が、様々な福祉活動を結果的に規制してしまっている現実もみられる。一定のルール作りは必要であるが、利用者サイドの視点からの運用を考えていく必要がある。

●**少しの工夫ですぐにできることをいかに実現していくか。**

計画は大事であるが、少しの工夫であまりお金をかけなくてもすぐに取り組めるような施策を検討していく必要があるのではないか。

3) 地域懇談会での声

各町内会の役員の方々（32町内会・80名）に参加いただいた地域懇談会では、地域（町内会）で起きている問題や課題、現在取り組んでいる事例等について多くの意見が出されました。

●今、地域（町内会）で起きている生活上の問題や課題について	発言町内会数
1 町内会の現状	
① 高齢化の問題	
町内会の高齢化が進んでいる	3
高齢化で町内会役員のなり手がいない	1
特に農村部の高齢化が進んでいる	1
② その他の現状	
昔から居住している住民が多いので、役員なども互助の精神で了解することが多い	1
救急車の出動が増加している	1
町内会活動のあり方、区長、その他の委員体制は今後も継続していくべきだと思う	1
不況の中では、福祉のことを考える余裕が住民にないのでは	1
退職後の生活について不安を抱えている人は多いと思う	1
2 地域のネットワーク、情報伝達	
① 地域のネットワーク、見守り	
向こう3軒両隣といった小地域単位での見守りネットワークづくりが必要	3
高齢者世帯で身内で見守る人がいないところは不安が大きいのでは	2
高齢者が高齢者の面倒を見ている状況がある	1
民生委員は高齢者、障がい者担当と言われるが、安否については隣近所でも気にかけてほしい	1
町内会同士の交流を図っていくことが必要	1
② 情報把握と個人情報保護の問題	
自分たちの区域にどんな人が住んでいるのか情報が入ってこないため、支援すべき人の実態把握がむずかしい	6
個人情報だからという理由で災害時に情報が伝わらないことを懸念している	3
ひとり暮らし高齢者の実態把握が問題	1
元農家が大半なので、隣近所の付き合いがあり情報が入りやすい	1
一人暮らしもいるが民生委員を通じて情報は入ってくる	1
3 地域の一体感	
① 世代間・居住歴・地域性による意識格差	
居住歴で意識が分かれており、年齢差もあって意見が分かれている	2
世代を超えた近所づきあいが希薄になってきている	2
住宅密集地域と農村地域で意識が違う	1
若い年代の人とは日常交流が無く、出入りも多いため知り合うことが難しい	1

② 地域一体の活動	
グループ内では活動があるが、地域全体の活動がひとつにならない	2
町内会に入っていない人をどうするかが課題	1
老人クラブや趣味の会などが活動しているが、入っていない人をどう誘うかが課題	1
ひとり暮らし高齢者などは、なかなか活動に参加しづらく、孤立しているかもしれない	1
新しいことに取り組むのが難しい	1
集まってくれば何とかなる。集まってもらえるかが大事だと感じる	1
4 取り組んでほしいこと、取り組むべきこと	
① ボランティア活動	
ボランティア活動はやりっぱなしではなく評価をした方が良いのでは	1
次世代ボランティアの育成が課題	1
小中高校生の除雪ボランティア活動→自主性を引き出すことが大事。機会作りも大事	1
役場職員が中心にボランティアをやっていくべきだと思う	1
② 公共交通機関	
公共の移動手段が少ないと閉じこもりの増加を引き起こすのでは	2
コミュニティバスの本数が少ない地域では使いづらい	2
コミュニティバスは通院に便利	1
スクールバスと福祉バスの共同運行を考えたらいのでは	1
③ 除排雪	
除雪が行き届かないと救急車がたどり着けない場所もある	2
高齢者世帯の除雪問題	1
④ その他	
子どもの安全についてもっと考えるべき	1
母子・父子家庭への支援を公平に	1
今回の懇談会のような機会を今後も提供してほしい	1
都市と農村の福祉のあり方について、考えなければならないのでは	1
美化運動についても今後継続するには一考が必要だと思う	1
夜間救急体制を再考してほしい。豪雪地帯なので札幌・江別には行きづらい	1
担当間で連携を取り、縦割りの解消を	1

● 各町内会で取り組んでいること・現状、取り組んでいきたいこと	発言町内会数
① イベント等の開催	
町内会で祭りやイベントを開催し、交流を図っている	7
婦人部が中心になり、食事会等を高齢者向けに行っている	3
「もったいない市」をやった。防災グッズの用意や毛布、手ぬぐいなどの備蓄の問題がある	1
独自に子ども対象の交流会を行なっている	1
② 役員による地域への巡回等	
ひとり暮らし高齢者に対し、1ヶ月に1回福祉委員がまわっている	1
民生委員と福祉委員の2人で9月にひとり暮らし高齢者のお宅などをまわっている	1
福祉マップを役員の連絡先を書いて高齢者に配った	1
町内会長をはじめ役員全部で手分けして町内を巡回などをしている	1
③ 世代間等の交流	
高齢者と子どもの取り組みは、学校中心の運動会や老人クラブで子どもを含めた昔遊び(あやとりなど)を伝えたりしてきた	1
教育は家庭からだと思う。また、地域が集うことで見守りができ、いじめなどの問題に対してよい影響が出てくると思う	1
育成会での子どものつながりが、大人に波及している	1
地域のつながりを持つ活動や仲間を増やす努力を地道に続けていくことが大切	1
百人一首で高齢者と児童と一緒に集う場がある	1
サークル活動が活発	1
④ 連絡体制、情報伝達	
役員連絡網を作成し高齢者へ配布している	3
町内の情報を住民に発信している	1
隣近所の仲がよいので連絡・情報が早く安心である	1
新興団地だからこそ、コミュニケーションをお互いにとり、横のつながりを大切に、ということを実行している	1
各委員が1つの会議で集まって行うので、とても連携できており、一体となっている	1
町内の情報は住民に発信している	1
⑤ その他の運動、取り組み	
ことの始まりはまず挨拶から、声掛け運動が重要だと思う	2
社会福祉協議会の福祉マップを、字を大きく拡大しひとり暮らし高齢者に配った	1
とうべつ健康プラン21でつくったウォーキングマップを配布したが、どのように利用されているか等のフィードバックがほしい	1
災害時社会的弱者の把握のため、申請方式を取り入れている市町村がある	1
防犯ステッカーをつけて行動している	1
敬老サービスはボランティアが中心となって動いている	1
老人クラブでは、花壇の花植え、草取りなど年3回の活動を通して知り合うようになった	1
町内会で排雪資金の積み立てを実施している	1
ごみ問題に対して意識が高い	1

3. 当別町地域福祉計画策定委員会名簿

	氏名	所属
委員長	横井 寿之	北海道医療大学
副委員長	鈴木 桂子	当別町民生児童委員協議会
	朴 昶勲	江別医師会当別ブロック
	下段 寿之	当別町社会福祉協議会
	今井 哲雄	当別町行政推進員連絡協議会(H17.7.1~H18.5.31)
	安 榮 弘	当別町行政推進員連絡協議会(H18.6.1~H19.3.31)
	高木 馥美	当別町老人クラブ連合会
	佐々木 慶子	当別町食生活改善協議会
	伊藤 千恵子	当別町保健推進員
	堀内 教子	当別町ボランティア連絡協議会
	三野宮 一芳	石狩支庁地区身体障害者福祉協会当別町分会
	五十嵐 潔	当別町介護者と共に歩む会
	大原 裕介	NPO法人 当別町青少年活動センターゆうゆう24
	石川 清美	一般公募
	北 公枝	一般公募
	佐々木 諭	一般公募(H17.7.1~H18.3.31)

(任期 平成17年7月1日から平成19年3月31日まで)

4. 当別町地域福祉計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的とした当別町地域福祉計画を策定するため、当別町地域福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる者から町長が委嘱する15名以内の委員で構成する。

- (1) 学識経験者(1名)
- (2) 保健・医療・福祉・介護の関係者及び関係町民組織等の代表者(11名以内)
- (3) 公募による委員(3名以内)

(任期)

第3条 委員の任期は、平成19年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員長及び副委員長は委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が招集する。

- 2 会議の議長は、委員長がこれにあたる。
- 3 委員会は、必要に応じて関係者を出席させ、意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、福祉部福祉課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成17年6月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成19年3月31日限り、その効力を失う。

発行 平成 19 年 3 月

発行者 当別町

企画・編集 当別町役場福祉部福祉課

〒061-0234 石狩郡当別町西町 32 番地 2

TEL 0133 (23) 2661 FAX 0133 (25) 5018